

国鉄の値上げ反対

修学旅行界で陳情

現行で据置を

実施に支障がでると

国鉄の運賃値上げにたいする修学旅行界の反対運動がもたらした。旅行計画がくずれ、不参加生徒も続出し、教育上ゆゆしい問題として全修協を先頭に、三地区修旅委連絡協、各地区修旅委のほか全日中も呼びかけていっせいに立ちあがり、運輸、大蔵、文部省の各大臣に国会、国鉄へ、現行据置き」の要望を行なった。その要旨は次の通り。

全修協

貴職におかれましては、かねてから当協会の活動について深いご理解を示され、ご鞭撻を賜わっており、誠にありがとうございます。また、このたびの国鉄運賃料金の値上げが、修学旅行に及ぼす影響が少なからぬものがあり、当協会としても憂慮いたしております。すなわち、教育的価値が高く、迅速な修学旅行をすべての生徒に体験

させるため、修学旅行費の軽減をはかることは義務教育無償の原則に即して当然の主張であり、教育界はもとより関係各界のひとしきり賛同していただくべきであります。然るに近年の物価高騰による教育費の増大が家計を著しく圧迫していること、修学旅行費が増額されることは、父母保護者にとつてたがたがたであること、かまいた生徒にとっては生涯を通じ、その人間形成の上から欠くことのできないものであります。今回の国鉄運賃料金の値上げが修学旅行に及ぼす影響が、(一)諸物価の上昇とからんで、不参加生徒が多数出ることは必ずと考えられます。(二)本年度当地区中学校の修学旅行計画は、すでに乗車の期当日、日程も決定し、旅行地の旅館との契約も完了しております。この時点での変更あるいは中止は、生徒に大きな失望を与えるものであります。(三)関東地区中学校修学旅行運営委員会(高橋俊慶)

近修委

報道では国鉄運賃が値上げされるやにすぎますが、このことは修学旅行の実施に重大な支障を及ぼし、とくに貧困家庭などにおいて参加中止などのおそれがあります。したがって少なくとも四十八年度の修学旅行については運賃料金を従来まま取り扱われるよう要望します。(近畿修学旅行委員会委員長・久保田八郎)

東海三県修旅委

中学校の教育課程における修学旅行の占める教育効果は予想以上に大きいものであります。修学旅行の最大条件である旅行費の負担が増大することはこの意味深い修学旅行の実施を困難にいたします。義務教育無償の趣旨に即して下記の通り陳情いたします。(一)修学旅行の運賃料金は現状のまま据置き願いたい。(二)新幹線特別急行料金は全免の方向で検討願いたい。(東海三県中学校修学旅行委員会委員長・桜井敬一)

付添い旅費「確立」へ

全修協など運動展開

教職員の修学旅行付添い旅費は都道府県あるいは市町村によって支度方法も金額もバラバラなのが実情。全修協や三地区修旅委連絡協では本年度の運動方針としてこの問題を重点的に取りあげ、制度の確立をはかることになった。

全修協の昨年度調査によると修学旅行付添い旅費として予算化しているのは北海道、秋田、岩手、千葉、東京、神奈川、山梨、新潟、富山、静岡、岐阜、滋賀、奈良、徳島、愛媛、高知、福岡、佐賀、長崎、大分、鹿児島、沖縄の二十二都府県で、そのほかは一般旅費の中から支出、しかも、実費、打切りなど種々雑多となっている。特殊な例としては兵庫県のように児童生徒と同額の支払いが出ているところもある。したがって金額も千差万別で、関係運営委員長

8万5千余名運ぶ

49年度 あおぞら号近畿地区

【大阪】近鉄あおぞら号の四十九年度輸送計画が発表された。それによると四十九年四月二十四日から皮切りに五十年三月五日までの六十四日間、あおぞら号は、臨時、定期の三種に分けて大阪―宇治山田を往復する。総人員は八万五千三百十名、あおぞら号近畿地区運営協議会(幹事三郎)では次のように要望している。

第三回協議会開く

三地区修旅委連絡協で、関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連絡協議会(久保田八郎会長)では三月二十八、九日

人員超過で再調整

関係運営委で定める

関東地区中学校修学旅行委員会(高橋俊慶会長)の第六十一回運営委員会は三月五日午前十時から東京・新宿の都立教育館で開かれ、



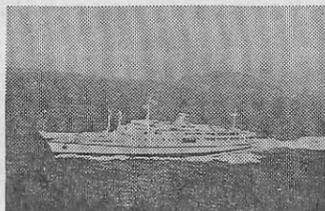
箱根に修旅のほかに加えて修旅委の委員が出席して第三回協議会をひらく。国鉄運賃の据置き陳情の経過報告、前回決定した修学旅行傷害保険加入の具体化などを検討する。これにより、(一)四十八年度、秋(一〇〇名)が十一万五千名、秋(一〇〇名)が十一万五千名、新たに春入、茨城県約三千名が加えられたため、これを編成すると四月十日から七月十七日

名称を変更

東海三県修学旅行列車編成委員会(桜井敬一委員長)は、東海三県中学校修学旅行委員会と名称を変更した。東海三県修学旅行委員会(仲谷義明会長)は従来通り。

若い心を大きく広げる

豪華観光船 ふじ・にほん丸 (旅客定員 1,800名 3,000トン)



見ているだけで、心が大きく広がる海—修学旅行は海になさいませんか。日本最大の豪華客船 ふじ・にほん丸が、生運忘れぬ修学旅行へご案内いたします。純白の船体に若い心をのせて……。

- 科学技術の粋をあつめた最新鋭船。
- 一流ホテルのような豪華な設備、完全エアコン。
- 皆さまのスケジュールにあわせて就航。
- 学習講義用T.Vシステムも完備。
- 一般乗客との混乗はありません。

●お問い合わせは●

大島運輸株式会社 東京支店 東京都中央区日本橋通1の6 浅野ビル ☎(03)273-8911

東京コマ旅行会館は第8回優秀防火建築表彰で建設大臣賞を受賞いたしました。東京でのお泊りは安全設備を誇る当会館へ。

東京タワー、国会議事堂を間近に望む東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、修学旅行の皆様に、より有意義な旅行をしていただくために、清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館です。

東京 コマ旅行会館

ホテル〈全館和室〉
東京都港区六本木1丁目7番地
TEL (03)585-1046(代表)

富士山北ろく・緑の中の休暇村!!

いま 修学旅行のために大自然をそのままうけついで施設づくりが生きてます。

富士山北ろく、青木ヶ原樹海の中に富士緑の休暇村があります。ロッジ、セミナーハウスを中心に、各種のスポーツ施設を備えた休暇村は、修学旅行に最適な施設です。5月にはロッジ新館、体育館もオープンします。

- 富士緑の休暇村の施設
- ロッジ(710人収容)・セミナーハウス(8室、最高500席まで)・大食堂(500~700席)・展望浴場(150人同時入浴可能)・サッカー場(2面)・テニスコート(10面)・バレー、バスケコート(各1面)・ソフトボール場・400mトラック(1面)・緑の広場・キャンプファイヤー場

富士緑の休暇村

総合予約センター ☎ 05557-2-2236 / 東京 ☎ 463-2236
大阪 ☎ 313-2236 / 静岡 ☎ 55-2236

あすの富士山をつくる富士観光開発

夏の教職員 研修旅行 募集はじまる

17コースで実施へ

「海外教育事情視察」も

春、夏の三季制による教職員研修旅行のうち、いよいよ夏季コースの募集がはじまった。国内は十四コース、海外は三コースで、いずれも研修行事を豊富に取り入れてあり、研修旅行実施十七年の実績を十分に発揮した修学旅行の特選コースばかり。外国コースとしては「韓国」や日教組と共催の「海外教育事情視察」三コースもあり、多種多様さをみせている。出発は七月下旬から八月中旬までの間だが、行前、会費、申込先などは学校に配布するチラシを参照のこと。(なお近畿地区は別コースのため記載していません。学校内に掲示するチラシを参照してください)

- 北海道一周 Aコース
北海道一周 Bコース
東北一周コース
山陰コース
南紀と伊勢志摩コース
奄美諸島コース
佐渡・磐梯・蔵王コース
能登半島と越前コース
飛騨路コース
立山と木曾
飛騨路コース
山と木曾
飛騨路コース
立山と木曾
飛騨路コース
山と木曾

近江路散歩

大津から比叡山や比良山の麓を湖畔にそって北上すると、若狭から北陸路へ通じて、近年は国鉄湖西線が建設中で、開業の期音がまよひす。国道一六二号線はクルマの洪水で、スキーや水泳シーズンの繁華であり、さういふ拍車をかけて、史跡や古文化財がすみこまに押し寄せられている。

史跡も豊かな湖西路

渡辺守順



『往古集』を書いた恵心僧都の建立で千体の阿弥陀仏を安置する淨御堂が湖中に突き出て、じつとすばらしい景観をよこしている。鎖あけて月さし入れよ淨御堂の建立で千体の阿弥陀仏を安置する淨御堂が湖中に突き出て、じつとすばらしい景観をよこしている。



高岡磯や連平筆の店もある。また、新旭町には隆徳寺跡、古山、山梨の絵巻の近江の能面打ちの名石造美術、民俗行事など、手井関家の「翁面」があり、また、さくらに朽木谷に入ると、室町時代の名園、興隆寺の旧跡、本上徳の「湖西」にてくつ武田元明の墓のある宝幢院もある。

高岡磯や連平筆の店もある。また、新旭町には隆徳寺跡、古山、山梨の絵巻の近江の能面打ちの名石造美術、民俗行事など、手井関家の「翁面」があり、また、さくらに朽木谷に入ると、室町時代の名園、興隆寺の旧跡、本上徳の「湖西」にてくつ武田元明の墓のある宝幢院もある。

チロル風のホテルは仲良し8人が一緒です。
集団生活の安全管理と宿泊の生徒さんの自主管理の両面から入念に設計された スズカビレッジ
2人で1台実物のエンジンを分解・組立てる
250名収容のテクニカルホールの生きた科学教育。
空へ、水へ、緑の中へ...自分でハンドルを握る「ゆうえんち」。
国際レーシングコースを走るレーサー気分も.....
そして陽の落ちた広場でファイアーストームを囲んで校歌を歌うひととき——
チロル風ビレッジの一夜、翌朝伊勢湾から昇る朝日も忘れがたいもの、どれを取っても学生生活を刻んだキラリと光るひとコマです。